



支那事變の物品税と
清酒の倉出税その他は倍額
玉代の二割は六、七萬圓

支那事變の物品税と

清酒の倉出税その他は倍額 玉代の二割は六、七萬圓

平税務署では今四月一日から
課される支那事變特別税(物
品税)につき今二十一日同署
樓上に關係當業を招集稅務懇
談會を開催したが新稅法によ
る同署管内の増収は開稅の清
酒從來の七萬五千圓及び其の
他のもの七千圓弱が何れも倍
額になるので一ヶ年十六萬餘
圓に達し直接藝妓の玉代に課
される二割は平、小名濱、湯
本、四倉のみでも一昨年の玉
代二十八萬四千圓に達してゐ
るのでこれに植田町その他を
合計する總額に對しての同稅
は尠なくも六、七萬圓に上る
であらうと概算されてゐる

平土木監督所員 の異動

縣土木課の移動は昨二十日發
表されたが平土木監督所關係
左記の如くである
▲平土木道路技手上村圭一
喜多方へ、喜多方の遠藤勇
道路技手平へ、福島岡田忠
一同平へ、平の高崎新吾道
路技手郡山へ、平の助手藤
澤朴美道路技手平格居居
り、棚倉の助手鈴木見道路
技手平格居平へ、平の助手
大森信治富岡(以上)
下好間部落會
石城郡好間村の下好間では明

湯本校長菊地正 一氏小濱校長へ

石城郡湯本小學校校長菊地正一
氏は今回安達郡小濱小學校長
に轉任したが後任は郡山市桃
報告祭

公益質屋の起債 均當償還千四百圓

平市の公益質屋は位置を五丁
目以東に決し豫めて認可申請
中の大藏省豫金部から融通を
受ける起債二萬圓を許可され
たので今二十一日貸入れ手續
まで済ませたが今四月三十日
までに交付を受ける同市債の
利率は三分二厘昭和三十三年
まで十八ヶ年賦償還の毎年均
當千四百七十餘圓である

戦地の便り 命令一下の即應に 充分準備致居ます

其の後は意外の御無沙汰に
打過ぎ何共申譯ありません
お變りなく御過ごしの事と
思ひ喜んで居ります、私も
おかげ様にて只今元氣に山
麓に於て第一線警備につい

支那事變の物品税と
富める者は財主でシテ
イチユー、貧しき者は
窮人でチンレン、丈
の高きものを稱して長
的と書きチンデ、反
對に丈の低きものを
短的と書きチンデと云
ふやうに稱へてゐる

中堅農講勿來支 部の總會

石城郡農の中堅農講會同
會勿來支部では今二十一日
午後一時から同青年會館に
總會を開き臨時の柴田技手か
ら農事講演があつた

小川江改修竣功 報告祭

石城郡小川江筋組合管理會
澤本縣事務官は猪狩組合書記
を帶同今二十一日午前十時澤
村神社に参拜水路改修竣功の
報告祭を執行した

石城郡檢丁の 教育調査員

石城郡に於ける十四年度檢丁
檢査教育調査員に今回左記を
囑託さる

農地調整委員會

農地調整法の施行による大野
錦、内郷、永戸、箕輪の各村
に同委員會を設置せられる旨
去十七日付縣報に告示された
ことになつてゐる

撰炭婦の献金

石城郡好間村の上好間田川
炭鑛撰炭婦六十餘名は本年一
月から毎會計に續續献金して
ゐる一會計五錢(一名づつ)の
第四回分二圓廿五錢を根本し
げさんの代表で今二十一日平

署に國防献金を寄託
堀江時局講演會
石城郡好間村の日曹小田鑛業
所では来る廿六日午前十時か
ら堀江時局講演會を招き同村好
業館に於て時局講演會を開く
囑託さる

上遠野農會役員

石城郡上遠野村では此の程農
會總代會を開き會長に梅田末
次郎、副會長吉田辰蔵、評議
員に荒久馬氏外四名を決定す

山神祭費を節約 して百圓寄附

石城郡好間村の日曹小田鑛
は去る山神祭費を節約して得
たる金百圓を今二十一日村役
場を通じて恤兵献金した

喧嘩の仕返しに 官名を詐稱

石城郡植田町と錦村の境界に
架かる較川橋事務書記柳田健
一(三)假名は去る十九日夜同
町駅前附近で錦村のブリキ職
中田某外三名に喧嘩を吹きか
けられた體をばはらすべく自
宅に引返し日本刀二口を携へ
て駅前料理店跡より方に立寄
り電話をもつて俺は植田町の
佐藤部長だを取調べることが
あるから出て来いと前記中田

人絹職工の喧嘩

石城郡錦村の昭和人絹工場職
工遠藤甚助(四)と國分春雄(三)
は去十八日夜同僚廣田政雄
(三)と中田武一(三)に喧嘩を
賣り遠藤は短刀をもつて廣田
の左肩部及び頭部に二週間の
傷害を與へて植田署に檢舉

職業紹介所の葉

以上は國營職業紹介所活動
の指針とも云ふべき點であ
りますが、今後職業紹介所
の重點と致しましては、
第一に事變下に於ては、何
物も措いても、軍用上必要
なる職工その他の勞務者の
斡旋充足に力を注がなければ
なりません、此の點に付
ては前にも述べました如く
從來に於ては陸海軍と緊密
なる聯絡の下に相當努力し

酒類商組合總會
酒類商組合の總會は昨二十日
午前十時から平市公會堂に於
て開催したが創立第一回の總
會で出席七百餘名、定款一部
の改正、十三年度決算、十四
年度豫算を附議決定後懇親の
宴を催した

炭坑夫の 引ぬき一歩前

石城郡好間村の日曹小田鑛業
所坑夫中山松之助(四)は妻子
ある身で同坑大平飯場方後山
婦菊地ふじ(三)と懇ろにな
り妻にするからと連れ出し昨
二十日正午頃平驛まで来た
ところを勞務員十餘名の追手
と驛前派出所警備部長に捕は
れた女は附近旅館に潜伏中を
見付けられたが中山は同僚坑夫
十數名を山形縣某炭鑛に引抜
くところの一歩前と判つた平
署では坑夫ふじを厳禁され
て折柄殊に嚴重なる取調
中である

平第一校の遠足

平第一校では今二十一日左記
の遠足運動をなす
▲一年飯野村白土 二年夏
井村専稱寺、如來寺 三年
同村大國魂神社 四年同村
大越海岸 五年豊間村沼の

職業紹介所の葉

職業紹介所の葉
職業紹介所の活動は、長期
に於ては、其の職性を最少
限度に止むるやうに職業斡
旋を行ひ、また必要なる職
業輔導を行ふ等種々考慮す
るつもりであります、
第三に歸郷軍人及び傷痍軍
人の職業斡旋に付きまして
は其の一人と雖も失業者と
ならない様に細心の努力と
注意を拂ふ決心であります
第四に小學校の卒業生その
他青少年の就職に付ては職
業紹介所は從來より一層徹
底的に之れに指導保護を加

職業紹介所の葉
職業紹介所の活動は、長期
に於ては、其の職性を最少
限度に止むるやうに職業斡
旋を行ひ、また必要なる職
業輔導を行ふ等種々考慮す
るつもりであります、
第三に歸郷軍人及び傷痍軍
人の職業斡旋に付きまして
は其の一人と雖も失業者と
ならない様に細心の努力と
注意を拂ふ決心であります
第四に小學校の卒業生その
他青少年の就職に付ては職
業紹介所は從來より一層徹
底的に之れに指導保護を加

農業

非常時

栽培家の行くべき
途と新品種の紹介

昨年の西瓜栽培は多難な年で全国的に大減収を來したため、本年は一般に栽培熱が低下、出荷組合の消長に大きな影響を投げかけてゐるのであるが、國家的作物を主眼とするべき現下の農業經營には却つて好ましい現象とも云ふべきであつて縮小制限された栽培地から、より多くの収益を獲得するやうに努力することが非常時下の西瓜栽培家の進むべき途である、このためには栽培地の選定に、また肥培管理の上に細心の注意を拂ふべきことは云ふまでもなく地方青果市場に於ける品種の動向に留意し需要者の嗜好に合致する優良品種の作付に邁進せねばならぬ、

現在關東を中心とする各栽培地に於て作られてゐる旭大和、新大和二號、新大和三號、クリーム大和、富民號等は何れも一長一短があり、栽培者にもよく需要者にも喜ばれると云ふ理想的なる有望種は少ない、しかして西瓜栽培品種の決定期に際し昨年大和に於て試作され好成绩を収めた新品種を紹介する。

(有望なる新品種)
◆全勝號西瓜、櫻井町奈良農藝化學研究所西瓜育種場に於て新大和の優良陶汰によつて育成したる固定種であつて、早生種に屬するもの新大和號、同三號と同時期に完熟する、

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

1939を行く

逸品揃ひに

春のシヨール
晴雨兼用傘
春の子供服

各種陳列

ツルヤ

電一四〇

明治生命磐城代理店

山崎與三郎

醤油、味噌
たひら正宗
鯉節食料品

お醤油は ヤママル
山崎合名會社
電話 本営業部二七〇番
分店一七〇番

電話五九二番

に變りました

喫食
茶事
酒場を兼ねた。

レストラン サロン

平市銀座街

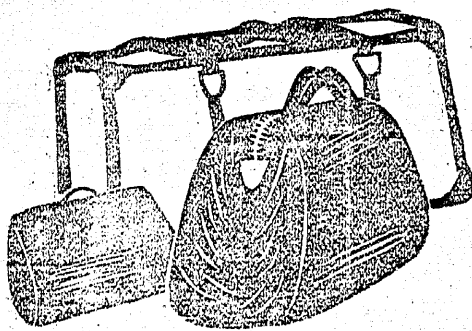
根本 婦人科醫院

平市南町

根本 莊次郎
根本 貞雄
電話三四番

(入院隨時)

類品洋とンバカ



眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新) (話電六) (五)

帝國 海上 保險株式會社

安田系統の帝國海上
代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話一六番

期學新

賣特

贈呈用化粧箱入
二圓より各種調製

萬年筆 岡萬年筆製作所
平市十五丁目(大町通り)



御入學、進級、卒業、記念に、此の上のない贈物

國民精神總動員

日本國民必見の書……

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次致して居ります

西村屋藥局

平二

電三

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平市田町 電話五一三番

高久病院
院長 醫學士 高久忠

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院
電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄

入院隨意
病室完備
木村病院
平市新川町九一 電話一六四番